

様式第9

議事録				
会議名	令和7年第4回昭和警察署協議会(定例会)			
日時・場所	令和7年11月13日(木)午後2時から午後5時まで			
出席者	1 委員 10名(定数10名) 阿部 真有美会長 石川 克彦副会長 片岡 真紀委員 脇田 将義委員 篠原 隆志委員 鳴川 義雄委員 齋藤 佳帆委員 西山 海良委員 和田 智美委員 村瀬 やよい委員			
	2 警察署員 10名 柴田署長 上園副署長 亀山警務課長 横山会計課長 宮本生活安全課長 奥村地域課長 島刑事課長 八村刑事課長代理 大村交通課長 野呂警備課長			
	3 有識者等 なし			
1 署長挨拶				
2 報告内容				
(1) 犯罪発生状況、交通事故情勢				
(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況				
ア 前回の協議事項				
昭和警察署に望む取組				
イ 前回の意見・要望				
自転車盗について 発生場所の管理者に防犯広報の実施				
施錠習慣をつけてもらうよう官民連携の啓発活動				
特殊詐欺について 実際の事例の周知、広報の強化				
ウ 施策推進状況				
・ 自転車盗多発場所において、桜花学園や県庁職員、防犯少年団白金小学校児童らとワイヤー錠の配布、インパクトのある防犯プレートの掲示及び防犯広報活動の実施。				
・ 区役所や商業施設などで高齢者に対し、国際電話利用停止手続きの促進及び、スマホ講習会を通じて防犯広報の実施。				
・ 各種イベントにブース出展し、若者への防犯意識向上に向けた防犯指導及び、幅広い世代への注意喚起を目的とした広報啓発活動の実施。				

様式第9（続紙）

- ・ LED プロジェクションロゴライトによる目から入る広報活動の実施。

3 協議事項

大規模災害の発生時に警察に望むこと

4 発言の要旨

- ・ 大規模災害発時の S N S による偽情報への怖さを感じている。不安な気持ちを抱えたまま、偽情報が入らないような措置をとることはできないか。
- ・ 緊急交通路の確保や治安維持のためのパトロール、被災情報などの情報収集など警察として基本的な役目を果たしてほしい。
- ・ 二次災害や犯罪防止活動、火事場泥棒への対策をとってほしい。
- ・ 災害避難者として登録することを知らない人が多いので、在宅避難者でも避難者登録することの必要性を広報してほしい。
- ・ 南海トラフ地震が発生すれば、日本全土が被災することと同じなので、その状況で治安維持や避難指示など警察としてできることをやってほしい。
- ・ 自助できるよう事前対策が必要であることを広報してほしい。
- ・ 被災時には大きな病院にけが人が殺到する前に交通整理も必要になるため、病院への交通路確保や交通整理も必要ではないか。
- ・ 官民一体となり発災時に住民以外の会社員や学生が、現在地と避難場所がわかるような情報をコンビニなどに掲示してもらうのはどうか。
- ・ 帰宅困難者向けの案内表示や経路図の掲示をしてもらうこと、正確な情報の発信をしてほしい。
- ・ 警察署が被災して活動できないのは論外のため、昭和署自体の建て替えを早くしてほしい。

5 意見・要望

（1）発生時

災害現場、病院への負傷者搬送等の道路確保のための交通整理

治安維持対策の強化

正確な情報の発信

（2）事前対策

避難所への案内表示の増設

自助意識を高める活動

昭和警察署の建物更新

6 署長挨拶

7 離任挨拶

8 その他

機動隊による救難救助訓練展示及び災害関連資機材展示

機動隊による「愛知県警察災害派遣隊即応部隊」の広報用動画視聴及び説明

次回の開催予定は、令和 8 年 2 月ころ

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。